

よねざわ

第73号

発行／米沢市議会
米沢市金池5-2-25 ☎22-5111(代)
発行年月日／平成13・5・1

市議会だより



お鷹ぼっぼに代表される「笹野一刀彫」は、サルキリと称される独特な刃物で仕上げられます。羽根を削り掛ける技術は、極めて難しく一人前と呼ばれるまでには数年から10年の年季を要するといえます。

かつては、笹野の山野から採れる草木で染料を造っていたという絵付けは、女性の役割です。

写真は、6代目戸田寒風氏です。鷹山公の生き方に感銘を受け、一刀彫で生きていくことを決心して以来、精進を続け今日に至っています。



平成13年3月定例会

	ページ
◆ 3月定例会の総括	2
◆ 代表質問	3
◆ 一般質問	6
◆ 常任委員会の審査から	8
◆ 予算特別委員会の審査から	10
◆ 請願・スポット・あとがき	12

3月定例会
1日～22日

平成13年度一般会計予算

三四六億六六〇〇万円を原案可決

対前年比六・八％の伸び



平成13年3月定例会は、1日から22日までの22日間の会期で開きました。

初日の本会議は、今年で23回目となる恒例の和服着用「きもの議会」で開会しました。初めに報告案件1件と承認案件1件をそれぞれ承認し、人権擁護委員候補者の推薦、監査委員の選任、及び固定資産評価審査委員会委員の選任にそれぞれ同意した後、市長から平成13年度の施政方針の説明が行われました。これに対し、5日と6日には、3会派の代表質問と3名の議員による一般質問が行われ、議案41件を各委員会にそれぞれ付託しました。

7日には総務・民生常任委員会を開き、8日には、産業文教・建設常任委員会を開き、議案及び請願（12月定例会からの継続中の請願）の審査を行いました。

9日から19日までの間に、予算特別委員会を6日間にわたり開き、補正予算8件については9日に審査を行い、13日の本会議で原案のとおり可決しました。

また、新年度の各会計予算については、5日間にわたり一般会計予算（総額346億6600万円）を中心に、特別会計予算14件（総額247億8306万9千円）と企業会計予算3件（総額109億525万3千円）のあわせて18件について審査を行いました。

最終日の22日の本会議では、各委員長報告が行われ、議案についてはすべて原案のとおり可決し、請願については継続審査1件とし、22日間にわたる3月定例会を閉会しました。

代表 質問

3月定例会では、5日に3会派の代表質問、6日に3名の議員が一般質問を行いました。

詳しくは6月に会議録ができますので、議会事務局、情報公開コーナー（4階）、市立図書館でお気軽にご覧ください。

行政のスリム化について



新政会代表 内藤 政利 議員

本市の
財政運営はどうか

長引く景気の低迷により、市税などの一般財源の確保が厳しい中にある。第7次総合計画の年次計画が着実に実施され、拡大する事業量とあいまって、徐々に財政硬直化の一途をたどっているが、今後の財政運営はどうか。

〔市長〕平成13年度予算編成に際しては、例年になく基金などの取り崩しを行いました。今後、国の交付税や制度の改廃変更などを見極めながら財政的には厳しいという前提認識をさらに強めつつ、全職員一丸となつて行財政改革に挑みながら、さらに収納率向上に全力を上げたいと思っております。そして、結果的には1年近く経過しますと、必ず平成12年度同様基金を取り崩さなくとも良かったのではないかとこの財政運営ができるものと確信しております。

行政のスリム化の重要な課題は、それを担う人と進め方を簡素化することだと思ふがどうか。〔総務部長〕高度化、多様化する住民ニーズに対応し、豊かさ

とゆとりを実感できる地域社会を築き上げてゆくため、行政の果たす役割は、今後ますます重要になると思っております。そのためにも職員一人ひとりが全体の奉仕者であることを改めて自覚し、意欲を持って職務を遂行できる職員、より高度な専門能力を有する職員、さらに柔軟思考を持ち企画立案能力を有する職員の育成に努め、自己啓発に取り組みやすい職場づくりに全力を尽くしてまいります。

教師と

家庭（親）と

地域の役割は

教師と家庭（親）と地域の役割をどのように考えているか。

〔教育長〕今後の教育はいかにあるべきかを考える時、学校、家庭、地域社会の役割は極めて重大であり、大人が変われば子供が変わる、大人自らのあり方を問題としての取り組みは教育における家庭や地域の役割の核心をつくるものと大きな期待をしております。一方、教師は子供が変われば大人が変わるとして、子供の変容を通して家庭や地域を変えようではないかと、一丸となって保護者や地域の方

を借りながら学校教育に真正面から取り組み、それぞれの自己存在感回復に努めなければなりません。

本市の農業の行方についてどのように考えているか。

〔産業部長〕生産調整1367ヘクタールの厳しい現状下であります。本市では、米を中心とした複合経営を進め、特に大豆、飼料作物を主体とした土地利用型農業とハウス園芸などの周年型農業を支援し、合わせて中山間地には適地適作への作物の導入と作業機械、種苗費の補助を行います。

また、担い手農業者育成のための支援としては、中山間地活性化推進事業での地域おこし研修や青年農業者育成事業に最善

を尽くしてまいります。

〔開発公社、㈱データシステム米沢及び米沢クリーンセンターの運営はどうなっているか。〕

〔市長〕開発公社は所期の目的を果たしつつ、公共施設管理公社的な業務を行っていることから、性格付けをきちんとする時期にあり内部検討を行ってまいります。㈱データシステム米沢は、会社自体これまでの経過を踏まえ、新たな経営改善や他の分野での業務拡大などで、近々民間企業という色彩の比重がすつきりするものと思われま



支援が期待されるハウス園芸

広域合併促進対策について



緑新会代表 菊地 富 蔵 議員

臨時財政対策債（赤字地方債）
によつての予算編成は、今後の
地方交付税や行財政運営の硬直
化をまねかないか。

〔市長〕地方債の発行について
は、国が後で責任を持つてくれ
るという政策起債ですから、市
の義務的返済の部分を小さくし
ています。総合計画も国の財政
事情によつて相当な影響を受け
る事もあり得ると認識しており
ます。

平成14年度末までの時限立法
「合併特例法」は近隣市町の少
子、高齢化社会を支える重要課
題でもあり、市長の広域合併促
進対策についてうかがいたい。
〔市長〕行政政治の責任者であ

介護保険制度の問題点と 今後の課題は

1 年を経過した介護保険制度
の問題点と今後の課題は。

〔健康福祉部長〕問題点や課題
を整理しますと

1 介護保健施設の充実。

2 要介護認定をする訪問調査

認定担当の組織強化と人的体
制の充実。

3 介護サービスの利用状況調査
いわゆる満足度調査実施と結

る議員の皆様や我々首長は、地
域住民に対し合併への意義や問
題点を含め、実態をまずお知ら
せして、国や地方自治体の財政
状況を勘案した場合に自治体の
一人歩きが難しくなっておりま
すので、市民社会において合併
の是非の議論をしていただき、
その上で結論の方向性を導き出
していく手法が正しいかと思つ
ております。

本市の企業の廃業や閉鎖によ
る解雇、失業者の再雇用の実態
はどうなっているか。

また、中心市街地活性化の方
向性についてうかがいたい。

〔市長〕再雇用については関連
企業ほか、雇用対策委員会など

果の活用。

4 低所得者に対して、保険料の
軽減問題の検討。

5 社会福祉法人が独自に実施す
る利用料の軽減策。

以上が主な点でございますが、
この課題を解決し、より良
い介護保険制度になるよう努力
してまいります。

果の活用。

ハローワークその他といっしょ
に対応中でございます。

中心市街地の活性化について
は市も応援しますので、具体的
な再開の実施計画の実現に向
け本市も相応の覚悟をして大変
難しい事業になると自覚をして
おります。

本市の農業の 将来は

本市の農業の将来についてど
のように考えているか。

〔産業部長〕本市の農業は水田
を中心に野菜、果樹、畜産の複合
型経営が進められてきました。

土地利用率の団地化を進め、一
方では周年型農業を目指した、
生産性の高い野菜、果樹、花卉
など施設園芸の土地集約型農業
を進め、農業所得の安定に努め
ているところでございます。

平成13年度秋の鷹山フェステ
イバルに合わせ市民バス2台を
増車計画しているが、高齢者や
身体障害者の車椅子など交通弱
者への低床バスの配慮はされて
いるか。

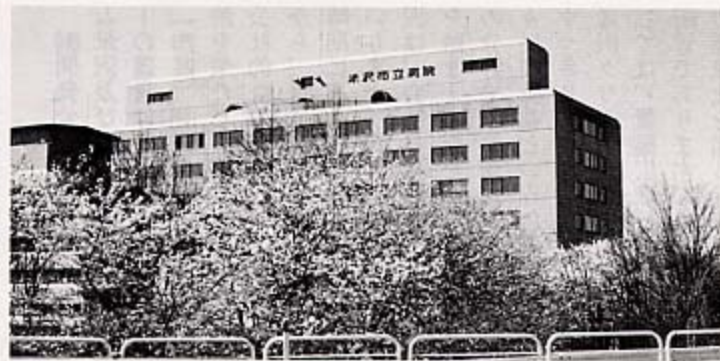
〔市長〕市民バスは福祉バスで
はありますが、一定の身障者
には、対応できると考えており

ます。

ただ冬期間の運行を考えると
雪国の本市の場合、ちよつと難
しさもあるようですので、経過
をみながら、考慮したいと思ひ
ます。

地域医療と福祉対策について、
公立置賜総合病院が開設された
ことによる市立病院運営への影
響はないか。

〔市立病院長〕総合的に申しま
すと種々影響はございますが、
経営的には大きな影響はないも
のと考えております。



地域中核病院の市立病院



市政運営に当たっての 基本的な考え方について

市政クラブ

市政クラブ代表 川野 裕章 議員

平成13年度の 主要施策について

仮称置賜ドームの概要と本市の財源負担の見直しについて。

〔市長〕高島町にある千代田グリーンセンターの隣地に、当初3市5町の単独財源10億円で30〜40億円の施設建設が可能だと見込まれておりましたが、現在では県の財政援助などもおほつかな状況でありますので、起債をプラスしても17〜18億円程度の施設しかできず、今後検討を進めていくことなので本市の負担についても現在は申し上げられません。

時代に即した組織の再編や人材の育成が急務であるが、その対応は。

〔市長〕民間の良い点を今まで以上取り入れながら全体の意識の啓蒙啓発にも努めてまいります。

広域合併へ向けて歩を進める時期だと思われるが、手法と問題点は。

〔市長〕地理的、財政的な違いがあり直ちに3市5町が同じテーブルにつくことはできないが、それぞれの自治体で議論を

スタートさせる必要があると思っております。手法については、広域化の障害になりかねないので申し上げられません。

今冬の大雪を踏まえ、除排雪システムの全面的見直しが必要と思われるがどうか。

〔建設部長〕基本的には現行の機械による除排雪を継続してまいります。但し、検証した上で委託のあり方や、雪捨て場の問題などを含め全体的に多面的な検討をしてまいりたいと思います。

県立米沢女子短期大学の公設民営化による4年制化も協議されているようですがその現況は。



4年制化が要望されている県立米沢女子短期大学

〔市長〕県の財政事情が苦しいため、公設民営化も考えておられるようですが、本市といたしましては県立経営であるという原則論を堅持していきたいと考えております。

運行が予定される 市街地循環バスの 簡易待合所の設置は

平成13年9月運行開始予定の市街地循環バス利用者のため、屋根付き簡易待合所の設置やコンビニエンスストアなどをバス停として活用すべきと思うがどうか。

〔企画調整部長〕冬期間のみ米沢駅に仮設の待合室を設置する予定ですが、その他のバス停については考えておりません。

介護保険制度スタート後、1年間における改善点は。

〔健康福祉部長〕未利用者への訪問通所サービスをショートステイに振りかえる措置や、低所得者の方に対する訪問介護、ショートステイ利用料の軽減などを

平成12年の10月から実施したところでございます。

21世紀のスタートの年に当たり、本市の教育理念をお聞きしたい。

〔教育長〕学問は聖人の道、すなわち人の人たる道。学問はこれを実践に移す。学問は実学でなければならない。以上、三つの上杉鷹山公のお教えに尽きるのではないかと考えております。

新文化施設の 年間維持管理費は

平成13年秋にオープンする新文化施設の年間維持管理費はどの程度見込まれるのか。

〔市長〕全体で2億5〜6000万円程度と見込んでおります。



一般質問

次の3名の議員が質問を行いました。

本市の地域経済、産業は大丈夫か



佐藤伊左工門 議員

平成12年の9月議会でも本市の地域経済と産業の現状について質問したが、その後も数社の閉鎖、倒産が続いている。当然就職率、有効求人倍率は県平均より低く、職を求める人は3000人を超していると言われている。さらに、今後も閉鎖、撤退などが続くようなことになれば、本市はパニック状態になってしまうという危機感をもつが、雇用対策、産業の活性化について一歩も二歩も踏み込んだ対応が問われている。市長の意欲ある所見をお聞きたい。

〔市長〕国内的な不況下の中にあつて私も対症療法的ながらも再雇用の道を切り開くため努力してきたところです。オフィス団地も次の本市の産業経済のリーダーになってくれるものと期待しております。また、産業、地域おこしの施策についても、的確に実態を捉えながら政策立案に誤りないよう努めてまいります。

本市は、緑豊かな四季折々の



美しい自然景観を有しており、将来ともこの自然を育み価値を付加していけば米沢の誇り得る大きな財産となるが、新環境基本計画に数値、達成目標などを入れて、市民が参加し協働しながら美しい米沢を創造していくための具体的な方策を提起すべきと思うがどうか。

〔市民環境部長〕本市の環境目標を達成するためには、子供たちも含めた市民の環境意識が高まっていくということにあります。今後、市民、事業者、行政など三位一体で理解を得ながら身近でやれるところから積極的施策を作り推進していきたいと思っております。

除雪の改善と福祉の充実について



白根澤 澄子 議員

今冬の豪雪経験を生かし、住みよいまちづくりを進めるために、市道の除排雪を市の責任で実施し、除雪と排雪をセットで行うことにより市民の負担を軽くしてはどうか。

〔建設部長〕現在、機械が入れる市道はほぼ100%除雪を行っている市道はあります。排雪では、引き続き町内協力会のご協力をお願いしていきたいと思っております。除雪と排雪をセットで実施すれば数10億円かかり、現実的には無理だと考えております。

〔市長〕雪室、雪ダムなど雪利用でも道を切り開いていくべきだろうと考えております。

〔企画調整部長〕利雪や市民生活向上につながる情報を収集し、市民に提供していきたいと思っております。

訪問介護の3%への利用料軽減を、保険制度開始後の低所得者にも適用する費用は、月約38万円であり、一般財源からの支出で実施していただきたい。

〔健康福祉部長〕平成13年度実施の実態調査の項目に利用料の負担感も入れていきたいと思っております。保険制度の趣旨から現時点では、一般財源からの繰り出しは考えていないところです。

国民健康保険を1年以上滞納した方に発行される資格証明書を機械的に発行しないと共に、「市長が特に認めるもの」の減免内容を明示して適用を広げ、滞納をなくしてはどうか。

〔健康福祉部長〕資格証明書は、担税力があるのに納税しないなど誠意のない滞納者に対して公布する考えです。ご指摘の減免規定は、具体的に列記している減免規定に該当しない場合に適用されるもので、一律に運用すべきではないと考えております。



今冬の雪対策を点検し

抜本的な改善を



高橋 壽 議員

今冬の豪雪被害を教訓に、本市の雪対策を抜本的に点検し改善すべきと考えるがどうか。

また、本市のような豪雪地では雪害こそ最大の災害と認識すべきだが、災害に強いまちづくりは短期間に一挙にはできない。長期的な計画を立てて進めるべきがどうか。

〔市長〕近年の除雪は、昔に比べれば随分良くなったと言えます。今冬の除雪についても、市民の皆さんからは及第点をいただけたものだったと考えています。ですから、今冬の対応を全部点検して平成13年度改善する、などという考えはないところです。

災害に強いまちづくりを長期的な計画でというご提案ですが、毎年全予算をつぎ込んだとしても自然災害には勝てないもので、少しずつ備えていくという考えです。

市長は「今冬の除雪は及第点。従って、今冬の雪対策の問題点

を踏まえて平成13年度に改善するということは考えていない。」と答弁した。しかし、市民の皆さんは除雪・排雪をはじめ今冬の豪雪で大変な不便や困難を強いられた。市役所には苦情や要望もたくさん寄せられたではないか。市民の皆さんの感情や気持ちから考えても市長の認識は問題だ。

本市は、除排雪にとどまらない市民生活全般にわたる総合的な雪対策の計画、つまり雪に強いまちづくり計画を持つていないところに問題がある。青森市では総合的な長期的な計画を策定し、対策をとっている。近年にない豪雪の経験から改めて抜本的な改善計画をたてる必要があると思うがどうか。

〔企画調整部長〕長期的な計画を、というご提案ですが、長期的な方針を出すことは困難です。これまでどおり雪対策は短期間の実施計画の中でその都度対応していく考えです。

3月定例会で

次のことが決まりました

- 専決処分事件の報告について
- 専決処分事件の承認を求めるについて
- 人権擁護委員候補者の推薦について
- 米沢市監査委員の選任につき、その同意を求めるについて
- 米沢市固定資産評価審査委員会委員の選任につき、その同意を求めるについて
- 市有財産（古志田東遺跡跡公園用地）の取得について
- 米沢市議会議員への政務調査費の交付に関する条例の設定について
- 米沢市公告式条例の一部改正について
- 米沢市職員の再任用に関する条例の設定について
- 米沢市職員の再任用に関する条例の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の設定について
- 米沢市一般職の職員に対する退職手当支給条例等の一部改正について
- 米沢市公務員等の旅費及び費用弁償に関する条例の一部改正について
- 米沢市市税条例の一部改正について
- 米沢市介護保険条例の一部改正について
- 米沢市博物館の設置及び管理に関する条例の一部改正について
- 米沢市青少年問題協議会設置条例の一部改正について
- 米沢市白布温泉国民宿舎の設置及び管理に関する条例の廃止について
- 米沢市上杉記念館の設置及び管理に関する条例の一部改正について
- 米沢市手数料条例の一部改正について
- 米沢市水道事業等の設置等に関する条例の一部改正について
- 平成12年度米沢市一般会計補正予算（第6号）
- 平成12年度米沢市5特別会計補正予算
- 平成13年度米沢市2事業会計補正予算
- 平成13年度米沢市一般会計予算
- 平成13年度米沢市14特別会計予算
- 平成13年度米沢市3事業会計予算

以上の議案は、すべて了承、承認、同意、原案可決されました。



常任委員会の審査から

総務

3月7・8日に開催した常任委員会から
主なものをお知らせします。

▼米沢市議会議員への政務調査費の交付に関する条例の設定について

本案は、地方自治法の一部が改正され、普通地方公共団体の議会の議員の調査研究に対する政務調査費の交付に関する規定が設けられたことに伴い、本市におきましても、その交付を実施することとし、政務調査費の交付の対象、額及び交付の方法、使途基準、収支報告書等の提出など、その交付に関し必要な事項を定めようとするものです。
〔委員〕政務調査費を月額として考え、議員の改選時における取り扱い。

〔総務課長〕基本的に在職の有無は、月単位で考えるのが主流であり、全国的にそのような傾向です。また、改選時においては、4月分と5月分以降に分けて考え、任期満了の議員には4月分のみを交付し、当選した議員には、5月分から支給されるものです。

〔委員〕本市の条例案の特徴は、〔総務課長〕収支報告書の提出の際に、領収書の添付を条例に明記し義務付けたことです。

▼米沢市職員の再任用に関する条例の設定について

〔委員〕再任用制度の実施時期は、〔総務課長〕実施時期について制度上は、本年4月1日から実施されるものですが、定年退職は年度扱いのため、実際には来年の4月以降から対象者が出てくるのではないかと想定しております。

採用の対象となる定年退職者以外の退職者の範囲などを定めるとともに、同制度により採用される職員に関する給与、勤務時間、休暇などの勤務条件その他必要な事項について定めるほか、規定の整備を図ろうとするものです。

〔委員〕再任用制度の実施時期は、〔総務課長〕実施時期について制度上は、本年4月1日から実施されるものですが、定年退職は年度扱いのため、実際には来年の4月以降から対象者が出てくるのではないかと想定しております。

〔委員〕再任用される人数と新規採用される人数との関わりは、〔総務課長〕再任用される人数のうち、短時間勤務職員は職員定数に含まれないものの、フルタイムで勤務する再任用職員については、職員定数に含むこと

になり、フルタイムで勤務する再任用職員を雇用した場合に、新規採用職員にも影響があることから、短時間勤務職員を有効に活用したいと考えており、今後さらに検討していきたいと考えております。

民生

▼議第11号米沢市介護保険条例の一部改正について

本案は、介護保険法の一部が改正され、市町村が行うことが

できるとされた介護保険被保険者の資格、保険給付及び保険料に関する調査の対象となる者の範囲が拡大されたことに伴い、所要の改正を行うとするものです。

〔委員〕介護保険法の改正による条例の改正であるが、どういう理由で法が改正されたのか。

〔国保介護課長〕介護保険料の算定などで世帯全員が非課税との規定があり、世帯全員の所得の状況などについて適正に調査し事務処理を行うのに必要なため改正がなされたものです。

〔委員〕本市において介護保険法第202条第1項に関わって問題となる事例はあったか。

〔国保介護課長〕本市では保険料の算定、保険給付の軽減などの事務処理に支障がでたことはなく、該当する事例はありません。

〔委員〕介護保険制度の問題点をどのように分析し今後の制度運用にどのように反映していくのか。

〔健康福祉部長〕平成13年度の早い時期に実態調査を行う予定であり、その中で介護サービスの質、利用料の負担感などについても調査し今後の具体的な手立ての基礎資料として考えております。

〔委員〕職員の質問事項はどの



開始から一年が経過した介護保険

ような内容か。

〔健康福祉部長〕税の申告の必要のない方についても前年度の所得の確認事務が必要のため、そうした事項についての質問を行うものです。

産業文教

▼市有財産（古志田東遺跡史跡公園用地）の取得について

本案は、昨年9月に国指定の史跡となりました古志田東遺跡につきまして、その遺構を保存するとともに、史跡公園として整備するための用地8659平方メートル余を、財団法人米沢市開発公社から1億8318万1287円で取得しようとするものです。

〔委員〕今後の整備計画は。

〔文化課長〕具体的な利用計画については、文化庁の指導を受けながら、地区代表者も参画している整備検討委員会において協議いただき、その結果に基づき、市民に親しんでいただける史跡公園としての整備を図っていききたいと考えており、平成13年度に実施設計及び造成工事を行い、平成14年度に植栽などの工事を行う予定です。



9月29日オープンの米沢市上杉博物館

〔新文化施設開設準備課長〕常設展と特別展を併せて観覧する場合の入館料については、特別展入館料を500円に設定した場合、常設展入館料400円と併せて900円となるところを、本条例第5条第2項の規定により、700円程度に設定したいと考えております。また、入館者の利便性を考慮し、近隣施設との共通入館券の発行についても検討を行っております。

〔委員〕特別展の運営に関する考え方は。

〔新文化施設開設準備課長〕平成13年度の特別展の開催については、開館時に実施する「上杉の至宝展」を皮切りに、併せて5つの特別展を企画しており、その後も、企画展示室の有効活用を図る観点から、年間を通して特別展を企画、展開するよう努めていきたいと考えております。

▼米沢市白布温泉国民宿舎の設置及び管理に関する条例の廃止について

本案は、昭和42年に設置され、34年間にわたり、低廉な温泉宿泊施設として広く利用されてきた白布温泉国民宿舎の老朽化が進み、また、利用者の数も減少してきたことを踏まえ、本施設が所期の目的を達成したことから、同施設を廃止しようとするものです。

〔委員〕国民宿舎廃止後の利用計画は。

〔産業部長〕現施設は老朽化が著しいことから、早急に取り壊す予定であり、市有地である跡地については、このほど県に報告された白布温泉街復興に向けてのマスタープランとの整合性を図りながら、温泉街全体の景観も考慮した、白布温泉街の復興に資する有効活用策を検討してまいります。

▼米沢市上杉記念館の設置及び管理に関する条例の一部改正について

本案は、上杉記念館の入館料を無料とし、市民の憩いの場としての利用の拡大を促進するとともに、規定の整備を図ろうとするものです。

〔委員〕無料化後の上杉記念館の活用方針は。

〔商工観光課長〕松が岬公園周辺の整備が進められる中で、新博物館、上杉記念館及び座の文

化伝承館といった施設を一体的に維持、管理し、市民の利用に供していく基本方針のもとに、上杉記念館については、その文化的価値を認識した上で、これまでどおり利活用しながら文化財として保存していく考えから、今後の整備の展開に応じて検討していききたいと思っております。

建設

▼米沢市水道事業等の設置等に関する条例の一部改正について
本案は、地方公営企業法第40条第2項の規定に基づき、議会の議決を要する水道事業などの業務に係る法律上、市の義務に属する損害賠償額の下限を、現在の30万円から50万円に変更しようとするものです。

〔委員〕過去において、30万円以上の損害賠償責任が発生した事例はあるか。

〔業務課長〕現在までに、水道施設工事にかかる損害賠償責任が発生した事例については、平成11年11月に上郷地内で発生した事故1件であります。

平成13年度予算を中心に 26議案を審査

一般会計

特別会計

事業会計

予算特別委員会は6日間にわたり開催し、平成12年度補正予算8件と平成13年度当初予算18件（一般会計1件、特別会計14件、事業会計3件）のあわせて26件を審査し、原案のとおり可決すべきものと決まりました。

その審査の中でありました平成13年度予算における質疑の主なものをお伝えしま

児童虐待防止の対策は

〔委員〕児童虐待防止に向けた対策はどうなっているか。

〔福祉課長〕平成12年の児童虐待死事件の発生を踏まえて、関係機関相互の連携を強化するため「米沢市児童虐待防止連絡会議」を設置したところであります。

この連絡会議では、被虐待児

童を発見した場合の緊急対応策の協議や情報交換がなされることとなります。

また、各保育所・幼稚園の職員に対する研修会の実施も予定しております。

なお、夜間時の対応としては、行政機関相互での夜間連絡体制が確認されております。

〔委員〕保育所に入所を希望しながら入所できないでいる待機世帯の解消策はどのようなものか。

〔社会課長〕平成12年12月末の入所希望児童数は1070名となっており、これに対する市内保育所15園の定員数は910名であります。

こうした定員を上回る入所希望の状況に弾力的に対応するため、県では年度当初での定員率115%での入所措置を指導しているところでもあります。

さらには、年度中途での最大定員率を125%とする入所措置も可能とされております。



4月からオープンした
乳児園「プチハウス」



15日	議会だより編集委員会	▼1月▲
17日	市政協議会幹事会	
18日	建設常任委員会	
22日	議会だより編集委員会	
22日	各派代表者会	
23日	陸前高田市議会から視察	
23日	総務常任委員会	
24日	民生常任委員会	
24日	東海市議会から視察	
31日	市政協議会幹事会	
31日	市政協議会	
31日	産業文教常任委員会及び 管内行政視察	
▼2月▲		
1日	各派代表者会	
6日	全員協議会	
6日	第32回置賜3市5町議会 連絡協議会定例総会	
7日	議会運営委員会	
8日	置賜2市2町議会正副議 長懇談会	
15日	各派代表者会	
15日	議会運営委員会	
16日	民生常任委員会	
16日	建設常任委員会	

〔委員〕各町内会が組織する除雪協力会の設置状況はどうか。

〔土木課長〕今冬の地元協力会による除雪の実施は約260件ほどであります。

平成12年末に、未組織の町内会に対して除雪経費に対する市の助成方法について説明を行うとともに、除雪協力会の設置をお願いいたしました。

〔委員〕文部省では平成13年度から英語・理科・数学の3教科について20人授業とするとあるが、本市ではどのような教員配置となるのか。



英語指導助手による授業

〔環境生活課長〕テレビなどの特定家電製品の廃棄に際しては、販売業者による引き取りが原則となっており、引き取り時には再商品化料金と収集・運搬料を消費者が負担することとなります。

新法では、過去に販売した小売店の引き取り義務や買いかえ時に引き取りを求められた場合の引き取り義務を明記しております。過去に販売した小売店が不明

廃棄家電製品の

収集処理は

どうなるか

〔教育次長〕平成13年度から5カ年計画に基づき、全国で2万2500人の教員定数を拡大する方針が示されております。

この計画による本市分の教員増員枠としては、各年度6名程度の配置増が見込まれます。

〔委員〕家電リサイクル法の施行に伴って廃棄家電製品の収集処理はどうなるのか。

な場合は、メーカーが市内2カ所に設置した指定取引場所に郵便局からリサイクル券を購入し、付の上、直接搬入することも可能です。

〔委員〕介護福祉施設の入所について待機者の解消を図るため、特別養護老人ホームのショートステイ枠を長期入所者枠へ転換することは可能か。

〔国保介護課長〕平成12年11月現在の特別養護老人ホームの待機者数は251名となっております。このうち在宅の待機者数は72名であります。

一方、ショートステイの利用は8割を下回る状況であります。ショートステイの枠を特別養護老人ホームの長期入所者枠に転換するためには県との協議を行う必要がありますので、今後とも検討を行ってまいりたいと存じます。

〔委員〕平成13年秋から開始する市街地循環バスの運行計画や利便性の高いコース設定についてどのように考えているのか。

〔企画調整課長〕運行計画では、バス2台による右廻りと左廻りの2路線の設定を考えております。

バスの運行時間については、1循環に要する時間が約1時間

と見込まれることから1時間半に1本のダイヤを組む予定であります。

この場合、待ち時間が生じますが、利用者数の増加が見込まれた段階で運行本数の充実を検討してまいりたいと考えております。

また、料金は200円均一の料金体系を想定しております。



〔委員〕地元ブランド米である「米澤米」の販売促進策をどのように推進していくのか。

〔農林課長〕「米澤米」の販売促進については、平成9年度から米消費拡大推進事業として実施しておりますが、特別栽培米であることから栽培指導等を作成して生産農家に対する生産指導を行うとともに、消費拡大に向けたポスターやチラシなどを作成しております。

16日	17日	産業文教常任委員会 会管外行政視察(横手市)
19日	市政協議会幹事会	
20日	総務常任委員会	
23日	産業文教常任委員会	
26日	市政協議会	
27日	議員研修会	
27日	議会運営委員会	
▼3月▲		
1日	本会議(招集日)	
5日	本会議(代表質問)	
6日	本会議(一般質問)	
7日	総務常任委員会	
	民生常任委員会	
8日	産業文教常任委員会	
	建設常任委員会	
9日	予算特別委員会	
12日	予算特別委員会	
13日	議会運営委員会	
	本会議	
	予算特別委員会	
14日	予算特別委員会	
15日	予算特別委員会	
19日	予算特別委員会	
21日	議会だより編集委員会	
22日	本会議(最終日)	
	全員協議会	
	各派代表者会	
26日	議会運営委員会	
27日	議会運営委員会	
29日	総務常任委員会管内行政視察	
	議会運営委員会	

市議会のホームページ

議長からのメッセージをはじめ、会議録、市議会の概要、市議会だよりなどを紹介しています。ぜひご覧ください。

▼アドレス

<http://www.city.yonezawa.yamagata.jp/gikai/gikaihome.html>
市のホームページ (<http://www.city.yonezawa.yamagata.jp/>)
からもアクセスできます。

くわしくは議会事務局へお問い合わせください
TEL 22-5111 (5623・5654)

請

願

3月定例会で審議した請願の結果は次のとおりです。

継続審査

◆県 輝きの福祉プランの一部など、早急に見直しを求めることに関する請願
(山形市小白川町二丁目3-31 社会福祉法人
山形県手をつなぐ親の会 理事長 阿部 忠男
他1名)

スポット

議会研修会

「山形県市町村合併推進要綱について」



去る、2月26日に県企画調整部地方課長補佐・佐藤美夫氏を講師にお迎えし、「山形県市町村合併推進要綱について」と題し、議会棟委員会室において、議員研修会を開催しました。

地方分権の推進が実行の段階を迎える中で、新たな行政需要への広域的対応や市町村の一層の体力強化が課題となっていることから、国においては、自主的な市町村合併をさらに積極的に推進するため、市町村合併特例法の改正を行い、地方債の特



例、地方交付税の算定の特例期間の延長措置等を講じています。

そのため、県としても、市町村や地域住民が自主的・主体的な合併を検討する際の参考となるよう要綱を作成されたものです。

講演では、要綱の趣旨、市町村合併推進の背景、市町村合併への考え方、市町村の合併パターン、市町村合併に対する支援のほか、地方財政の現状についても触れられた内容であり、今後、合併を検討するうえで大変有意義な研修会でありました。

あとかき



数10年ぶりの豪雪に見舞われました今冬でしたが、ようやく春の兆しを感じる今日この頃、大雪の時こそ春の訪れが待ち遠しいものです。雪解けと共に至るところに雪のつめ跡が現れてきており、雪の凄まじさを思い知らされました。

我々議会だより編集委員も今回の編集を最後に、2年間の任期が終了することになりました。お読みいただきました市民の皆様様に厚くお礼申し上げますと共に、編集委員の皆さんご苦労様でした。

今後とも、見やすく読みやすい議会だよりが編集されますようお願い申し上げます。

(K・I)